

URL: <https://dousoukai.site/zezekoukou/> E-mail: zeze-h-dousoukai@poem.ocn.ne.jp
 編集・発行/滋賀県立膳所高校同窓会 大津市膳所2-11-1 TEL: 077-524-4295
 発行日/令和6年4月15日

巻頭エッセー	1
新入会員	1
令和6年度 総会のお知らせ	1
「給品(購買)物語」後編	2
「業務員さん物語」前編	2
班活動の今昔	2・3
周年同窓会・記念同窓会	4・5
周年・記念同窓会予告	6
同窓会事業のご案内	6
会員交流会報告	6
同窓会ゴルフコンペ報告	6
会務・会計報告・総会提出議案	7
班活動報告	8
サクラサク・膳所高NEWS	8
石鹿文庫・編集後記	8



FAX: 077-524-1732
 (同窓会HP)

新入会員

膳所高校での繋がりが

令和6年3月卒業 青谷 和樹

大きな期待を胸に遵義の桜を通過してから早くも三年が経ちました。膳所高生としての三年間は、コロナ禍の影響を受けつつも私たちにあって、とても充実したものでした。入学当時はコロナ禍の真っただ中でした。マスク姿しか知らない友人たち、黙食、歌わずに録音を聞く校歌など様々な制限があり、学校生活は私たちがあなごられていたものとは大きくかけ離れていました。また、班活動においても活動停止期間や、国体を含む数々の大会の中止等、満足に活動することが許されていませんでした。しかし、その中で私たちが目にしたのは厳しい制限の中でも全力で活動し、楽しむ先輩方のいきいきとし



た姿でした。湖風祭もとても楽しく、最高の思い出になりました。制限の中でもあきらめずに全力で実行錯誤される先輩方に私たちはとても憧れ、私たちが先輩方のようになりたいと心から思いました。ウィズコロナからアフターコロナへの時代、私たちは新しい学校生活をつくっていくこととなりました。コロナ前の学校生活を知らない私たちにあってそれはとても難しいことでした。しかし、仲間たちと実行錯誤することは大変である一方、楽しく、結果として湖風祭や修学旅行をはじめ、とても楽しい学校生活を送ることができました。これらは最高の仲間がいたからこそ成し遂げられたことです。私事ではありますが、私はボート班の主将を務めました。自主自立の精神のもと、協力して班を運営する中でたくさんの困難と遭遇しました。チームが負けてしまった時、責任を感じることもありましたが、共に頑張る仲間がいてくれ、支えてくれたから再び頑張ろうという気持ちになり、また、仲間がいたから激しい練習をすることができました。班活動だけでなく勉学の面でも良い刺激を与えあうことができました。今の私があるのは仲間の支えのおかげです。「私たちは最高の仲間」私は胸を張ってそう言うことが出来ます。膳所

巻頭エッセー



私の人生と論語

同窓会会長 川戸 良幸

昨年、令和5年度同窓会総会においてご推薦され、会員のみなさまのご承認を頂き会長に就任させて頂きました昭和49年卒(膳所高22回)川戸良幸と申します。伝統と歴史のある同窓会の会長として、前会長(現名誉会長)大嶋悦男さまの後任として微力ではございますが、川上昌道副会長(昭和51年卒)山本 彰副会長(昭和53年卒)他の役員と共に誠心誠意をもって努めさせて頂きますのでよろしくお願い申し上げます。

論語には、人間関係や道徳に関する格言や名言が多くあります。二千五百年という長い時間を経ても現代社会を生きる私達に人生の歩み方について指導してくれています。原文には、たくさん有難い言葉が残されていますが、「私の人生と論語」についてご紹介をさせていただきます。

私の論語

「子曰く、吾十有五にして学に志し、三十にして立つ、四十にして惑わず、五十にして天命を知る、六十にして耳順う、七十にして心の欲

する所に従えども、矩を踰えず。」

十五歳は、私の人生における重要な転機となる膳所高校に入学し、高度な学識を身に付ける重要な出発点でありました。しかし、卒業は出来ましたが、大学へは進学出来ず、二十歳にして琵琶湖汽船(株)に飛び込み、充分な学識も積まないうちに、社会経験を通して学ぶと言う人生を歩み始めました。

三十歳は、私の第二の転機となり、外輪船ミシガンの就航を機にアメリカ人研修生の担当として会社の新しい方向性に関わり、個人的には両親家族を離れて、結婚と言う而立の生活を始めました。

四十歳は、高卒であるレッテルも薄れ、一人の社会人としての社内外評価も頂く様になり、過去の人生に多々あったであろう選択肢の中、この歳にして、自分の人生として生きるべき道にたどり着いたと感えずに実感出来る歳と成っていました。

五十歳は、船舶事業の担当取締役に就任し、まるで天命であるかの様に、自分の人生が琵琶

湖と共に生きる事である自覚に芽生え、里山、里湖、と里住の人々と交流し、琵琶湖の大切さを学ぶ機会を多く頂きました。

六十歳は、本来は親会社の役員が社長になる通例を越えて、琵琶湖汽船の社員であり、尚且つ高卒である私が社長に選任され、琵琶湖を愛する人々のご意見に耳を傾け、ご指導に共感させて頂きながら重責を全うして退任致しました。現在は、びわこビジネスビエローの会長に選任を頂き、今も琵琶湖と共に私の道を歩み続け、歩まされている道と心掛けています。私の人生は、膳所高校卒業生としてのプラウドとコンプレックスと共に歩んで来たと思っています。そして、本年は、昭和49年3月膳所高等学校を卒業し五十周年の節目の年であり、古希を迎える歳と成りました。そして、2025年には、七十歳を迎えます。「心の欲する所に従えども、矩を踰えず」を心情に、与えられました道を自分の人生として慈無く過ごせればと願っています。

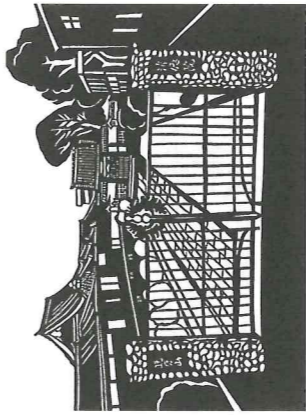
今日までの自分の人生とこれからの自分の人生が途切れることなく、今を生きる私に、人生の節目を持つて生きる事の大切さを教えてくれている私の論語人生です。

同窓生の皆さんには、人生の節目をどの様に思考して過ごされ、今後過ごされて行かれるかの気づきの一つに、私の論語人生話が役立てば幸いです。

お読みいただきましてありがとうございます。感謝

高校で巡り合えたこのつながりは僕にとつての宝物です。

最後になりましたが、私たちが三年間最高の学校生活を送ることが出来たのはOBのみなさん、そして先生方をはじめとするたくさんの方の支えがあったからです。班活動の大会では、たくさんの方が応援に駆けつけて下さり、ご声援が私たちのパワーとなりました。先生方が私たちにたくさんのごことに挑戦する機会を与えて下さったことで、私たちは自由に活動することができました。これからは、私たちがOBのみなさんが引き継いでこられた「遵義、力行」「自主自立」の精神、「文武両道」の伝統を次の世代に受け継ぎ、膳所高校同窓会員としてさらなる膳所高校の発展を祈念致します。



切り絵で描く膳所三十六景「清徳院」
 (谷川博己 膳15・昭42卒)

令和6年度 総会のお知らせ

会員皆様方の多数のご出席をお願いいたします。

令和6年度 定例総会

●日時 令和6年5月19日(日) 午前10時
 (午前9時30分受付開始)

●場所 琵琶湖ホテル
 大津市浜町2-40
 電話 077(524)1511

- 議事
- 1、令和5年度会務報告・部会報告
 - 1、令和5年度会計報告・会計監査報告
 - 1、令和6年度事業計画・予算審議
 - 1、その他
- 講演 「自由な発想で基礎研究から社会貢献へ」
 講師: 木下 政人氏
 (膳所高29回 昭和56年卒業)

講演者のプロフィール



経歴
 1981年3月 膳所高校卒業
 1986年3月 京都大学農学部水産学科 卒業
 1991年3月 京都大学大学院農学研究科博士後期課程 修了(京都大学農学博士)
 1994年2月 京都大学農学部 助手
 2019年4月 リージョナルフィッシュ株式会社設立 CTO兼務
 2021年4月 京都大学大学院農学研究科准教授

講演要旨

膳所高校入学前の説明会で、当時の教頭先生の「君たちには自由があるから責任がある」の言葉が深く心に響きました。高校卒業後もこの言葉を胸に研究と教育を進めています。今回の講演では、自由な発想で進めてきた「メタカ」の研究が、産業に活用できるようになった事例をお話ししたいと思います。現代の食卓には美味しい食材が溢れています。これらはどのようにしてできたのでしょうか。それらは長い年月をかけて人が作ってきたものです。理屈はわからないけれど「偶然できた良いもの」を何代も繰り返して選択することで作り出しました。これには途方もない時間がかかりました。2010年ごろから急速に発達したゲノム編集技術はこの状況を一変し、短期間で新たな品種を作ることを可能にしました。その原理と水産業での貢献をお話します。

●懇親会
 午後1時からの懇親会に出席していただける方は、当日、総会受付時に懇親会会費8,000円をいただきます。出席を申し込み、急用等によりやむを得ず欠席される方は早急に事務室に連絡をお願いします。無断及び当日連絡の欠席の場合は、会費を申し受けます。
 なお、同封のハガキは、総会・懇親会に出席の方、および住所等に変更のある方の方に返送下さい。諸般の状況により今後の変更・ご連絡等は膳所高校同窓会HPにてさせていただきます。(表紙上二次元コードQR参照)ご不便をおかけしますことをご詫言いたします。

「給品（購買）」物語 — 後編

（JUNGO 40号「前編」より続く）

「給品部、受難の時期」

「楽しい思い出が多いのですが、苦勞したこともいくつかあります。1995年（平7）に通信制廃止による教室改築時や、1998年（平10）には理科科が設置され分割授業用の教室が必要になったことから、給品の部屋が美術室や一般教室として使われることになりました。それにより、急遽美術準備室（旧校舎2号館真端、プレハブ棟二階）や、従来の給品の真上の部屋（図書館棟三階。それまでは倉庫として生徒は入れなかった）へ一時移動したこともあります。

現校舎建設時には、一時的に建設現場横（旧校舎と旧グラウンドの間の通路辺り。旧校舎職員室の窓の外辺り）に建てられたプレハブの仮店舗へ移動しました。現校舎への引越は、プレハブ店舗からの移動でした。（仮店舗となったプレハブの建物は、その後第二グラウンドへ用具置場として移設され、現在も使われています。）

現校舎では専用の部屋ではなく、一号棟3階、生徒ホールの一角をお借りしてショーケース、冷蔵庫を設置しているだけです。以前のように生徒さんのちょっとした隠れ家のような場所ではなくなったことが少し寂しく感じます。目の前の自習用のテーブルでお友達と喋ったり、一生懸命勉強をしている生徒さんを見ているのは楽しく、毎日活気をもらっています。」（以上 安永さん談）

一回に渡り「給品（購買）物語」をお伝えしました。お話を聞く中で、「ソーダ水、ミカンジュース、スコール（以上値段の安い順）、テスト用紙、ストープ、プレハブ校舎、ブランク」といった膳所では今や死語？となった言葉も飛び出し、しばしノスタルジックな時間を過ごせました。安永さん、お忙しい中ありがとうございました。

* 同窓会HPに給品部の写真を多数掲載しています。

表紙の二次元コード（QR）からご覧ください。

* 急募：膳所高校の歴代のチャイムの音色を探しています。

現在はポール・モーリアで有名な「恋は水色 Love is Blue」ですが、旧校舎時には何度か音色が替えられたようです。そのいきさつをご存じの方、また録音されたものをお持ちの方は、同窓会事務室までご連絡をお待ちしています。押し入れに埋もれたままの古い「カセットテープ」の背景音にチャイムの音が入っていないでしょうか…



管理棟3階生徒ホール

2023 (R5)



最後の姿へ移転前、

2005 (H17) 7月

「業務員さん物語」 — 前編

前号、今回の二度に渡ってお届けした膳所高校を最も長く見てきた給品部（購買）の安永憲子さんに続いて、今回は現在膳所高校勤務年数が一番目に長い業務員の山田伸二さんにもお話を伺いました。

山田さんは昭和62年4月から現在まで37年間膳所高校にお勤めです。基本的には生徒と直接接する内容のお仕事ではないため、卒業生も在学中に直接お世話になった、お話をしたという方はそう多くないかもしれませんが、日常校内のあちこちで作業をされている姿を見かけたことはあるかと思います。

「膳所高校勤務になった経緯からお話し願えますか」

民間企業に10年間勤めた後、転職して膳所高校にお世話になっています。27歳の時でした。肩書は「滋賀県、技能労務職」になりますが、平たく言えば学校の業務員です。前任者が病気で休んでおられた後に入りましたので、業務の引継ぎ等が無く、何をしたいのか、何が自分の仕事なのかも掴めないままのスタートでかなり戸惑いました。また器具や道具も今ほど充実していませんでしたので、ずいぶん苦勞しました。

「具体的なお仕事内容は？」

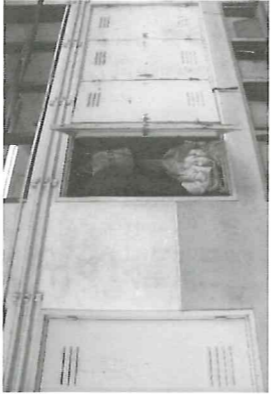
境界線があつて無いような感じで、「学校や校地内の施設管理、美化全般」という捉え方をしています。生徒さんの目に留まるものとしては、校地内の樹木の剪定や管理、校舎や機器のちよつとした修理、生徒さんの清掃区域に当たっていない部分の清掃などです。本来校舎の保全修繕や電気配線や機器の修理は業者に依頼するのですが、急を要する場合などは業者が来てくれるまで待たせないので、私に対応することがよくあります。変わった仕事としては、新校舎玄関入って左側の各班部室の鍵入れの箱を作れないかと（山田さん設計。作成は業者に依頼）、吹奏楽班から「こんな楽器を作ってもらえないか」といった相談もありました。「何でも屋」みたいな感じです。

「旧校舎と現校舎では管理や保守の仕方もかなり異なると思うのですが。」

基本的には校舎、校地を維持管理するという点では同じかと思うのですが、二度の大震災では新旧校舎の違いを感じる出来事がありました。

旧校舎の印象は、古いながらもかなりしつかりとした建物だったということです（1960（昭35）完成）。1995年（平7）の阪神淡路大震災の折には、校舎の建物自体には大きなダメージはありませんでした。壁のひび割れ等も目立つたものではありませんでした。朝出勤したら、正面玄関ドア横のガラスが割れていたこと「ガムテープなどで応急処置をしました」、防火シャッターが下りていたことくらいです。これは、非常時にシャッターがきちんと作動していたという証ですね。

2011（平23）年の東日本大震災時は新校舎でしたので耐震性も改善されており、建物自体も大きなダメージはなかったのですが、建物のちよつとした「ズレ」で少し影響はありました。理科棟の上に天窓がありますが、その辺りに少し隙間ができてしまったようで、現在でも



旧校舎ロッカー

多少の雨漏りが見られます。新校舎は、それぞれの建物（一号棟、二号棟、管理棟、理科棟）が建物として繋がっておらず独立して建てられているようで、間にわずかな隙間（余裕）を持たせています。地震の際はそれぞれの建物が別々に揺れ動いたようです。その結果、建物自体はダメージは少なかったのですが、隙間を覆っていたカバーという緩衝材のようなものが、ぐちゃぐちゃに押しつぶされていて、正しく「緩衝材」の役割をしていたと感じたと同時に



芝刈り中の山田さん

班活動の今昔

◆写真班

班長 2年9組 宗 ゆつみ

私たち写真班は現在、2年生10名、1年生5名の計15名が所属し、主に3号館1階にある暗室で活動しています。

令和5年度の滋賀県高等学校総合文化祭では、特選1枚、佳作2枚の成績を残し、令和6年度全国総文祭への出場権を獲得しました。また、10月に行われた滋賀県ヤング写真展では、当班員の作品が最優秀賞である推薦に選ばれた他、いくつかの作品が入選しました。

暗室は、パソコンやプリンター等、写真の編集や印刷ができる設備や、フィルム写真の現像ができる設備が整っています。週に一度暗室でミーティングを行い、個人で撮影した写真を見せ合つて、うまく表現できた点や改善点を皆で話し合い、撮影技術の向上に努めています。他にも、写真の印刷・編集をしたり、校内で小規模な撮影会を実施したりしています。

文化祭や体育祭の時期になると、準備期間の活動や当日の取り組みの様子を撮影を行います。行事の撮影を通して班員以外の人ともたくさん関わり合うことができます。

そして長期休業中には、動物園などへの撮影会を実施しています。班員同士の交流を深めるとともに、皆で試行錯誤しながら撮影技術を高め合っています。

その他、自分たちが持ち寄った写真を、写真家の方に講評していただく学習会にも参加しています。班員同士で考えているだけでは気付けないプロの撮り方や、編集の仕方を学べることも貴重な機会となっています。

当班の魅力の一つは、生徒の自主性を重んじた活動です。撮影会の行先は、季節や距離を考慮して班員で相談して決めています。ミーティ



に、新校舎の建て方も垣間見ることができました。

旧校舎の建物で特徴的だった部分が、階段の部分の外壁がブロックの格子状になっていて、その隙間に鳩が住み着いて卵を産み、数が増えて糞害も酷いものでした。掃除をしたり網を張つたり…またその鳩を狙つて蛇も出沒したり…いろいろなハプニングがありました。また旧校舎では、教室の外側の廊下にあったロッカーの戸が開まらない、取っ手が取れたなどといった修理をしたことも今となつては懐かしい思い出です。

次号では、懐かしい旧校舎についての思い出をもう少しお話いただきます。なお同窓会HPに関連写真を多数掲載しています。是非ご覧ください。（同窓会HP↑上のバナナ「会報バックナンバー」へ）

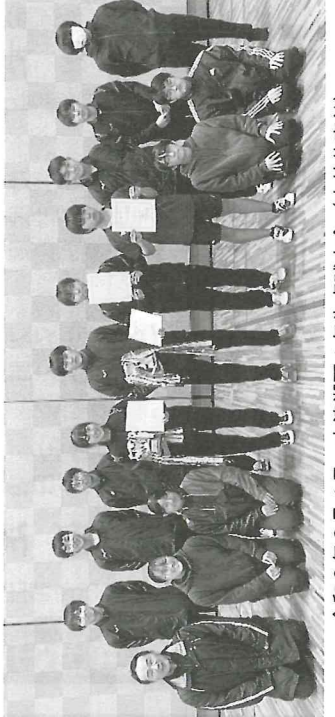
ングでも、その日その日の活動をそれぞれやりたいことを言い合つて決め、充実した時間を過ごすことができます。

個人で活動しているだけでは手に入れない貴重な経験と仲間を大切にしながら、今後も日常の一瞬を見逃さないように感覚を研ぎ澄ませていきたいと思っています。

◆卓球班

顧問 西村直樹

卓球班の2023年度の班員は1年生男子11名、女子3名、2年生男子11名、女子8名、3年生男子5名、女子3名の合計41名であった。最近の実績については2022年度の学校対抗において、男子は秋季総合体育大会ベスト8、女子は春季総合体育大会、県民スポーツ大会、秋季総合体育大会でベスト8に入っている。2023年度には上記の3大会でいずれも男女ともベスト8に入り2022年度に引き続き、近畿高等学校卓球選手権大会、近畿高等高等学校新人卓球大会に出場している。また、個人戦では2022年度に山本悠路選手が全国選抜大会の県予選で優勝し、愛知県スカイホール豊田で行われた全国選抜大会に出場している。2023年度には近畿選手権予選を山本すみれ選手が通過し本選に出場している。また、春季総合体育大会において小村美央・柿添みく組がベスト8に入り、柴谷菜祐・山本すみれ組も近畿選考試合を通過し、この2組が近畿高等学校卓球選手権大会に出場している。秋季総合体育大会では山本悠路選手がベスト8に入り近畿高等学校新人卓球大会に出場している。さらに、大津湖西1年生大会では2年連続男女とも優勝している。このように、男女とも常に滋賀県の上位に入っている。しかしながら、卓球班で特筆すべきことは実績だけではない。卒業後も卓球のことが好きで卓球を続けている方が非常に多いことである。毎年、大学で卓球を続けている選手や



本校体育館

令和6年2月4日

大津湖西1年生卓球大会

社会人の卒業生がよく後輩たちを教えに来てくれる。さらには、女子の監督として指導していただいている西田毅監督も本校の卓球班OBである。また、卒業生で組織されている卓球同友会があり、ここ数年はコロナ禍で中止していたがこの同友会の方と高校生が年に1度交流を兼ねた試合を行っている。2023年度も暑い時期ではあったが8月19日に本校体育館で実施し、大変盛り上がりを見せた。卓球は生涯スポーツである。年齢を重ねてもその年齢にあった卓球を楽しんでいらつしやる卒業生が本当に多いこと。そして、年代を超えたつながりがあることが本校卓球班の誇りである。

◆バドミントン班

男子班長 2年4組 福嶋和弥

私たちバドミントン班は現在、男子2年生10人・1年生8人、女子2年生5人・1年生4人の計27人が所属し、体育館で活動しています。

バドミントンはシングルス・ダブルスの個人競技に注目されることが多いですが、団体戦も行われており、チームで高めあうことも重要となります。春季大会での団体戦ベスト8、個人でも各々の目標達成に向けて、部員一同チーム一丸となって練習に励んでいます。

2023年度の活動成績は、秋季大会において女子が第6位、男子がベスト16という結果を取られました。また、女子シングルスではインターハイ及び、全国選抜大会に出場するなどの結果を取ることができました。

当班は練習メニューを班員自ら考え、練習の意味を理解し、自分たちで発展させながら練習しています。全員が練習の意図を理解することでより効率的に質の高い練習を行うことが可能になっています。また、練習中も気づいたことがあれば先輩・後輩関係なくアドバイスをし合うようにすることで新しい意見を随時取り入れることを可能にし、より高いレベルを目指すことができます。校内戦や練習試合、公式戦では、目標よりも一つ多くの勝利をつかむという意識を持ちながら、メリハリをつけて全力でバドミントンを楽しみながら試合に挑むようにしています。我々がこのように練習できているのは、通常時は6面、全面時には10面ものコートが使用できるというとても恵まれた施設のおかげです。

このような非常に恵まれた環境でバドミントンができてきていること、そして、それを支えてくださっている多くの人がいることへの感謝を忘れずに、バドミントンを今ままで以上に楽しみ、よりよい成績を残せるようこれからも励んでいきます。OB・OGの方々もぜひ練習にお越しください。今後とも膳所高校バドミントン班の応援をよろしく願っています。



◆陸友会、四年ぶりの開催

陸友会会長 津田忠雄(昭和45年卒)

陸友会は、7月29日「ホテルテトラ大津・京都」で4年ぶりの開催となりました。参加者は50名弱。弾む声と笑顔、触れ合う感覚、ちよつとした穏やかなぬくもり感があります。懇親会は黙禱で始まりました。この数年間で逝ってしまった会員の屈託ない笑顔、グラウンドを駆ける姿が走馬灯のように去来していました。今回は総会、懇親会に加え、同期の大日向純子さんの提案で、御年九十歳になられる平尾智恵子(日本女子体育大学名誉教授)さんをお迎えして講演をしていただきました。テーマは「人見絹枝さんを讀んで」。女性スポーツの黎明期を担った一人の女性の生き方を語っていただきました。一方、懇親会は今年顧問を去られた宮城博之先生への慰労も兼ねていました。十六年間、いろいろなことがあったと思いますが、ほんとうにご苦労様でした。顧問は馬場豊先生にバトンタッチされました。娘さんが陸友会の会員であるというのも何かの縁です。今回、高野清幹理事長をはじめ、役員の皆様の努力で開催していただきトラブルもなく無事終了。こと心より感謝申し上げます。



◆第9回膳所高校吹奏楽班OB合同演奏会のご報告

吹奏楽班OB会会長 伏木雅人(昭和49年卒)

開催日時 2023年7月16日(日) 13:30開演
会場 大津市民会館 大ホール
主催 膳所高校吹奏楽班OB会
共催 滋賀県立膳所高校吹奏楽班
後援 滋賀県、滋賀県教育委員会、大津市、大津市教育委員会、大津市民会館、滋賀県立膳所高校同窓会

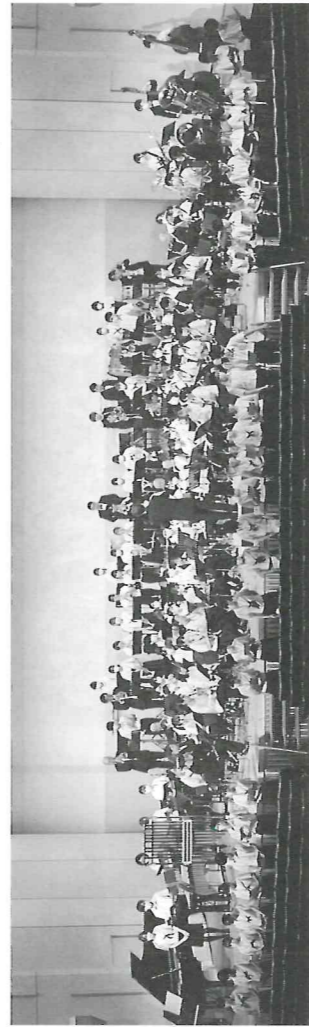
高校新卒の若手から全国で活躍中の70代までの幅広い年代の吹奏楽班OB会員有志が約60名集まり、新型コロナ感染予防に十分注意を払いつつ、月に1度の練習を重ね、4年ぶりとなる演奏会を開催することができました。第1部は高校の現役班員による演奏を4曲。第2部はOBのみで3曲を演奏の後、ステージ上の過密を避け、現役2、3年生との合同の1曲で締めました。鳴りやまぬ拍手にお答えし、アンコールの膳所高「校歌」および「道選歌」を含む3曲には現役1年生も客席最前列で歌の参加をして(写真参照)、盛会のうちに幕を閉じることができました。

なお、今回初の試みとしてオンラインLIVE配信および1か月間のアーカイブ配信も実施しました。その結果、視聴記録は延べ928回で、当日入場者231人と合わせると1,159人にご視聴いただけたこととなり、過去の演奏

会の中でも最多の視聴者数になりました。LIVEおよびアーカイブ配信は、遠方の方や当日都合がつかなかった方、海外の方々などに多数ご視聴いただき、大変好評価をいただきました。

新型コロナ感染症の影響で2年前に開催を延期した第9回OB合同演奏会でしたが、各方面の方々にもご協力いただけたおかげで今回無事に開催できました。ここに同窓会の皆様にも感謝申し上げます。現役班員から70代までの大変幅広い世代の吹奏楽班OBが一同に会し演奏できるという稀有な喜びと幸せを噛みしめることができ、さらにLIVEおよびアーカイブ配信にてご視聴いただいた方々とも経歴を共有できました。また皆様には耳にする機会が殆どない「道選歌」をこの演奏会で初めて聴き、歌っていただけた同窓会の方々も数多いのではと拝察しております。

次回の記念すべき第10回に向けて、さらなる工夫や努力を惜しまずOB会活動を続けていきますので応援やご参加をよろしく願います。

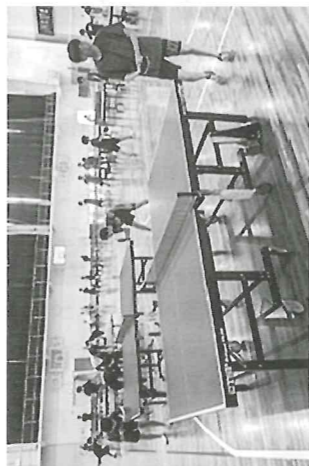


◆卓球同友会・現役生とOBの交流試合と親睦会

卓球同友会幹事 姜永根(昭和50年卒)

2023年夏真っ盛りの8月19日、私たち卓球同友会は、4年の月日を経て現役生とOBとの交流試合と親睦会を開催しました。コロナ禍の終息後、久しぶりに膳所高校卓球班OBの皆さんの笑顔に接することができましたね。参加者はOB、現役をあわせて60名を越えました。最高年齢85歳の大先輩をはじめ、初めて参加するOBもいて、たいへん楽しくかつ真剣に現役生たちとの交流試合に熱い汗を流しましたよ。

卓球は数あるスポーツのなかで、おそらく高齢のOBと現役生が対等に戦える唯一のスポーツでしょう。日々健康生活を送るために卓球を楽しみ、大会にも出場しているOBたちが少なくないですから。交流会終了後、現役生と親睦会を行いました。現役生に対して、一人でも多く県大会を勝ち抜き近畿大会や全国大会に出場できるよう、日常の練習を怠ることなく力を尽くしてほしいと激励しました。卓球同友会は、これからも年に一度、必ずこの会を開催していきますよ。



◆ラグビー班OB「マスターズ花園2023」に参加して

ラグビー班OB会会長 小野田昭英(昭和48年卒)

「マスターズ花園2023」が昨年を引き続き、10月7日(土)〜9日(月・祝)に東大阪市花園ラグビー場第1グラウンドで開催された。

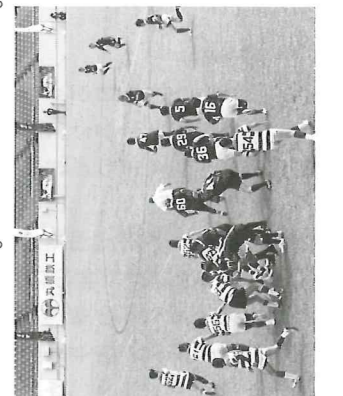
我がチームは8日(日)の第1試合で福岡県の西南学院高等学校と対戦した。西南学院高等学校は現役の花園出場はないが、長年にわたってチームを指導されていた森監督を「なんとしてでも花園へ連れていく」を合言葉に編成されたチームである。

試合に先立ち昨年参加者最高年齢で活躍され、今年も出場予定だった本校ラグビー班の第一期生である貫田哲弘さん(9月18日ご逝去)に対しての黙禱を選手、観客・運営関係者一同が行なった後、キックオフの笛が鳴らされた。前半は55歳以上の選手22名、後半は40歳以上の選手32名で試合に臨んだ。喪章の代わりに腕に黒テープを巻いた我がチームは残念ながら5対33で敗れたが、昨年奪うことができなかったトライをあげることができた。

試合後には、西南学院高等学校とのアフターマッチファンクション。西南学院さんからは、膳所高校ラグビー班のエンブレムが入った手作りの博多提灯をいただき(後日この博多提灯は現役チームに寄贈した。試合でこの提灯を掲げ、気持ちより鼓舞されるのを願って)、我がチームからは龍が描かれた大津絵を贈呈した。1時間あまりであったが、まさにノースサイド精神で楽しいひとときを過ごすことができた。

その後京都へ会場を移して、15時から懇親会(膳所高校同窓会にもご支援いただいた。ありがとうございます)を実施する運びとなった。雨が懇親会前に降り出したが、防雨用のテントのおかげで、濡れることもなく開始された。家族を含め、55名の参加であった。和気あいあいの雰囲気の中で、本日のゲームのことや自分の高校時代のラグビーの思い出の話に花が咲いた。さらに、人数不足に悩んでいる現役チームの部員獲得にどう手を差し伸べたらいいのだろうか、現在開催中のラグビーワールドカップの展望(当日の夜にはジャパンとアルゼンチンの決勝トーナメントをかけたゲームが行われている)へと発展していった。来年こそは「花園で1勝」を確認して、18時前には終了となった。

私自身、諸先輩や後輩との交流が深まり、さらに教え子との久しぶりの再会もあり充実した素晴らしい一日となった。膳所高校ラグビー班で楯岡球の魅力に取りつかれて五十五年になろうとしている現在、もう一度ラグビーに乾杯!!



周年・記念 同窓会

65周年記念同窓会

(膳所高6回、昭和33年卒業)

昭和33年3月膳所高校卒業の私達は「膳六会」という学年同窓会を組織し、活動してきました。卒業65周年を記念しての「膳六会」を令和5年10月11日(水)琵琶湖ホテル「瑠璃の間」で78名の参加者で開催しました。在学中お世話になった担任の恩師はすべて鬼籍に入られておりますし、膳六会が把握しております物故者も130名になります。今回の「膳六会」は恒例の「校歌」斉唱、物故者追悼・黙禱、ビンゴゲーム、「琵琶湖周航の歌」斉唱の他は全員の写真撮影や儀礼的なものは取り止め、参加者がお互いに旧交を温め、在校時の思い出を懐かしむことに時間を割いた場面が随所に繰り広げられ、殊の外、参加者の何れもが満足されておられました。この「膳六会」は全体としては、今回が最後ということ参加者の誰もが名残を惜しみつつ、散会しました。

この「膳六会」開催に当たり、同窓会本部から周年同窓会のお祝い金を頂きました。ありがとうございました。

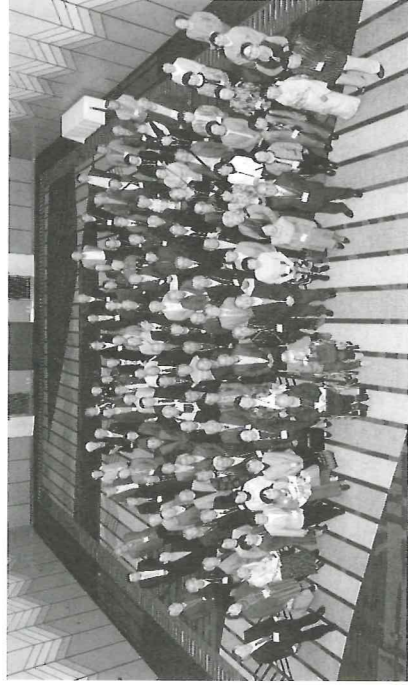
(淺田幸作)

55周年(喜寿)記念同窓会

(膳所高14回、昭和41年卒業)

令和6年2月14日、びわ湖大津プリンスホテルにて「喜寿」を記念しての同窓会を開催し、123名の同窓生が集いました。

当初は2021年度に55周年記念同窓会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染が拡大しており実行委員会の開催すら出来ない状況が続いていたため、同窓会の開催についてはコロナの動静を見守ることとし一旦自粛しておりました。幸い、昨年の5月にコロナが5類に移行し、制約の無い暮らしが戻ってきたので実行委員会を開催し同窓会の開催の有無を検討しましたところ、同窓生が喜寿を迎えること



から「喜寿」記念同窓会として延期していた55周年記念同窓会を実施することとしました。

「喜寿」の年度内開催するべく同窓会にそぐわない季節の2月の計画となりましたが当日の2月14日は春のような穏やかな絶好の同窓会日和となり、11時の集合開始時刻には殆どの参加者が集まり、受付前は黒山の人だかり。

恒例の記念撮影も時間通りに進み、同窓会終了までに現像された笑みいっぱいの写真を全員がお土産として持ち帰ることができました。「喜寿」記念同窓会は前回の50周年記念同窓会同様に恩師の先生方のご出席は叶いませんでしたので、開会行事も校歌斉唱、物故者黙禱、実行委員長挨拶だけに簡略化しました。乾杯の後には各テーブルのあちこちで久しぶりの出会いに思い出話、近況報告に花が咲き、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

今回の同窓会は今までのような特別な企画もなく、思う存分友人同士で色々な話に花を咲かせ、有意義な時間を過ごしていただくのみの予定でしたが、司会の吉川功君、藤田美智子さんの好リードにより、多くの同窓生が壇上に上がり、「医師による健康指導」「今後の同窓会の在り方」「ホケない過ごし方(尺八演奏による合唱)」「膳所高校新校舎の見学会」「手話の勉強(こんには、おはよう、ありがとう、好き)」等、夫々の得意分野から多くの話題を提供いただき、今後の暮らしに役立つ情報や知恵を示してもらえ、充実した時間を過ごせたと喜んでおります。

今回は2年後に60周年記念同窓会を予定しています。閉会にあたっては、傘寿を迎える2年後に再会するため、お互いの健勝を祈念することを約し散会しました。(藤村洋二)

55周年記念同窓会

(膳所高16回、昭和43年卒業)

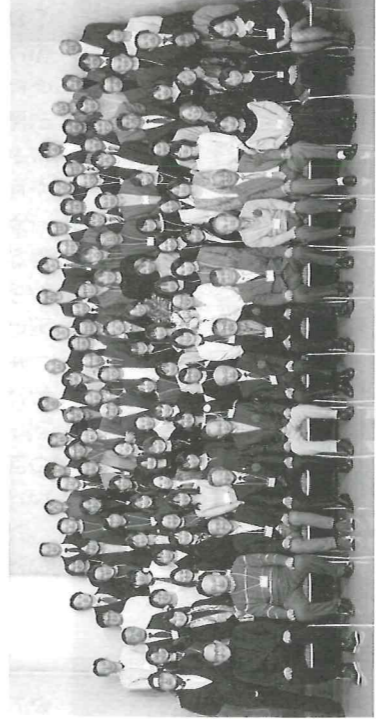
私たち昭和43年卒業の55周年記念同窓会は、春ごろからのコロナ禍終息の機運による諸費用の変動要因、「時期尚早なのでは？」という意見などもあって準備の始動が7月ごろからとなりました。準備期間としては短かったのですが10月28日(土)に琵琶湖ホテルでの開催となり、8月末に案内状を発送することができました。当日は久々の再会を懐かしむ歓談や展示した返信ががきに見入るグループがいたりして無事開催できてよかつたと感じた次第です。(川崎博史)



30周年記念同窓会

(膳所高39回、平成3年卒業)

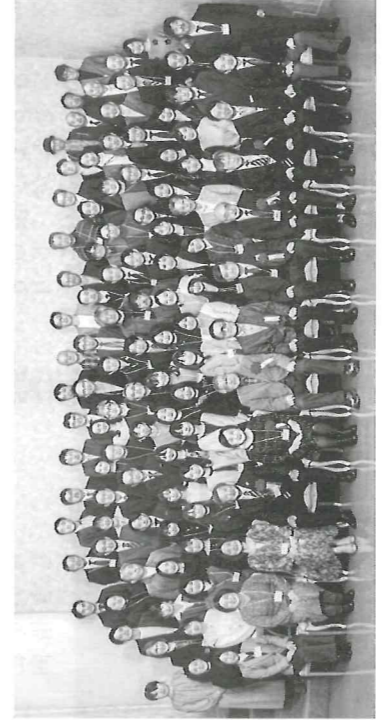
コロナ期のために3年間延期し続けた1991年卒業生の同窓会を、2024年1月3日、琵琶湖ホテルにて開催しました。昨年からのインフルエンザ流行、2日前の能登半島地震、前日の羽田空港航空機事故と気の休まらない時期ではありましたが、恩師7名を含む118名が参加し、旧交を温めました。



「琵琶湖周航の歌」を歌って閉会へ。物故者の冥福を祈りながら、再会の日まで、互いに50代後半戦を元気で頑張ろうと誓い合ったのでした。

二次会は琵琶湖汽船・ミシガンに約60名で乗船。船上から「混濁の湖」を眺めつつ再度の乾杯、夕焼けで黄金色に染まる「永遠の故郷」を背景に仲間たちと存分に語り合いました。

今回は令和10年11月25日(土)、200人で50代ラストを飾る集いにしたいと思います。(田中彰)



35周年記念同窓会

(膳所高36回、昭和63年卒業)

令和5年11月25日(土)琵琶湖ホテルにおいて、昭和63年3月卒業生の35周年同窓会が開催されました。藤本志郎先生のご挨拶に始まり、参加して頂いた恩師8名、そして同窓生94名の面々が思い思いに「乾杯」と声を上げ、校歌斉唱が終われば気分は高校三年生でした。今にして初めて語られるエピソードに驚いたり、もはや定番となった笑い話に盛り上がりつつありとあつという間の時を過ごしました。会の最後には村木康弘幹事長から「次回の40周年は200人で集まりましょう！」と大目標が掲げられ、参加者全員で

20周年記念同窓会

(膳所高51回、平成15年卒業)

令和6年1月2日にホテルポストンラザ草津で初めての学年同窓会を開催しました。

二十年ぶりの再会ということで、不安と緊張の中で参加した方も多かつたと思いますが、懐かしい六十名の仲間の顔に心がほぐれ、高校時代に戻ったような清々しい同窓会となりました。

今回は参加していただいた方にできるだけ壇上に上

がっていただき、近況を伝えていただくことにしました。「高校生の頃から好きだったゲームの仕事をしています」「県内で内科医をしているので吐血したら相談してください」「高校の同級生と結婚しました」「今年子どもが生まれます」など話は尽きません。もうすぐ四十歳ということもあり、仕事や子育てなど、それぞれに苦労はあります。でも、それ以上に仲間の活躍や明るい話題にふれ、明日からも頑張ろう！と思えるほどたくさんの方の元気をもらうことができました。

今回参加していただいたみなさん、お忙しい中ありがとうございました。ぜひ次回もお会いしましょう！そして今回は残念ながら参加がかなわなかったみなさん、次回お出合いできるのを楽しみにしています！(木下裕也)



周年記念同窓会 予告

◆70周年(東二会)記念同窓会

(東高2回、昭和29年卒)

日時 令和6年(2024)5月15日(水) 12:00~14:00
 場所 琵琶湖ホテル 3F宴会場
 会費 10,000円(洋食予定)
 同伴者のご参加歓迎します。
 連絡先 蒲生 啓仁 (077-5223-2435
 MXA03362@nifty.com)

◆65周年記念同窓会 (膳所高7回、昭和34年卒)

日時 令和6年(2024)9月上旬予定
 その他 詳細は後日案内します

◆60周年記念同窓会 (膳所高12回、昭和39年卒)

日時 令和6年(2024)7月11日(木) 11:30~15:00
 場所 琵琶湖ホテル 3階「瑠璃の間」
 会費 10,000円
 連絡先 柴山 茂 〒520-0836 大津市杉浦町5-15
 (077-5337-3912 090-83366-4001)

◆60周年(喜寿)記念同窓会

(膳所高13回、昭和40年卒)

日時 令和6年(2024)10月30日(水) 12時~
 場所 琵琶湖ホテル 瑠璃の間
 会費 15,000円(二次会込み)
 連絡先 西田 朋博 (090-92113-0355)
 nishida.tomo@gmail.com
 その他 案内状は6月末発送予定

◆50周年記念同窓会 (膳所高20回、昭和47年卒)

日時 令和6年(2024)11月9日(土)
 10:30~受付、11:00~(写真撮影後)開宴
 場所 琵琶湖ホテル
 会費 未定
 連絡先 矢野 邦彦 (TEL090-1148-1347)
 kstzyano@gmail.com
 その他 案内ハガキは7月頃送付予定です。

◆50周年記念同窓会 (膳所高22回、昭和49年卒)

日時 令和6年(2024)8月11日(日・祝)
 12時受付、13時開宴
 場所 琵琶湖ホテル 3F瑠璃の間
 会費 13,000円(二次会5,000円)
 連絡先 國松(上田) 定一 sosyo502@gmail.com
 その他 開催の案内状は4月中旬に発送します

◆45周年記念同窓会 (膳所高26回、昭和53年卒)

日時 令和6年(2024)8月10日(土) 夕刻から
 場所 琵琶湖ホテル
 連絡先 秋山(居嶋) 洋子 (077-5226-3648)
 その他 案内状は5月頃発送予定

◆40(女)周年記念同窓会(膳所高29回、昭和56年卒)

日時 令和7年(2025年)1月4日(土)
 12時30分~(15時二次会)

場所 びわこ大津プリンスホテル
 会費 10,000円(+5,000円(二次会)程度)
 連絡先 安田直紀 (090-2198-9014)
 noakiyasuda1962@yahoo.co.jp
 その他 詳細は後ほど連絡します

◆40周年記念同窓会 (膳所高30回、昭和57年卒)

日時 令和6年(2024)8月11日(日・祝)
 11時30分受付開始
 場所 琵琶湖ホテル 瑠璃の間
 会費 12,000円
 連絡先 宇田賢一 (090-6735-3701)
 ueda.takayuki@nifty.com
 その他 コロナ禍で延期しておりました卒業40周年と祝賀慶を一緒に行います

◆40周年記念同窓会 (膳所高32回、昭和59年卒)

日時 令和7年(2025)1月3日(金)
 場所 びわ湖大津プリンスホテル
 会費 未定
 連絡先 中山雅文 (090-1893-2218)
 nakayama@nakayama-soko.co.jp
 その他 詳細案内は令和6年6月頃を予定

◆35周年記念同窓会 (膳所高38回、平成2年卒)

日時 令和7年(2025)1月2日(木) 12:00(予定)
 場所 琵琶湖ホテル
 連絡先 米倉 崇 (090-12194-7222)
 その他 詳細は後日案内予定

◆30周年記念同窓会 (膳所高42回、平成6年卒)

日時 令和7年(2025)1月3日(金) 昼~
 場所 琵琶湖ホテル
 連絡先 稲垣 瑞穂 (090-8534-8538)
 LINE ID=mizuhoina zeze1994@googlegroups.com
 その他 LINE、facebookを中心に案内予定です。
 いずれにも参加されていない方は、
<https://line.me/R/t/g/s1t9t56E2>
 または下記二次元コード(QR)から
 LINEグループにお入りください。



◆10周年記念同窓会 (膳所高39回、平成27年卒)

日時 令和7年(2025)1月3日(金) 12:30~14:30
 場所 ホテルグランヴィア京都
 会費 一万円前後
 連絡先 猪飼 更紗 (080-1469-3791)
 tsqr13@gmail.com

◆5周年記念同窓会 (膳所高68回、令和2年卒)

日時 令和7年(2025)1月実施予定
 会場・会費 未定
 連絡先 学年代表理事 小川 隼平
 batfalco0106@gmail.com
 その他 詳細は各クラス理事から連絡予定

◆二十歳の記念同窓会(膳所高71回、令和5年卒)

日時 令和7年(2025)1月13日(月・祝)
 成人の日13:30~16:00
 場所 びわ湖大津プリンスホテル3階プリンスホール

会費 約10,000円
 連絡先 090-36695-8638
 niijyama3329@gmail.com
 その他 開催時刻は変更する可能性があります。

◆同窓会事業のご案内◆

①第29回膳所高校同窓会ゴルフコンペ

・日時: 令和6年9月16日(月・祝)
 ・場所: メイプルヒルズゴルフ倶楽部
 甲賀市信楽町田代65
 ・スタート時間: 8時00分アウト・イン同時スタート
 ・競技方法: ダブルペリア方式による前半9ホールのハーフコンペ(ストロークプレー)
 ・プレー費: キヤディ付 15,400円
 セルフ 11,000円
 ・会費: 2,500円
 ・定員: 40組
 ・お一人での申し込みも可能です。学年対抗もあります。
 (同学年4名以上で学年チームを編成)

②第10回 会員交流会

「開国文化と酒蔵を巡る旅」

・日時: 令和6年6月22日(土) 日帰りバスツアー
 ・方面: 神戸方面(白鶴酒造資料館、異人館街、南京街、神戸ベイクルーズ)
 ・参加費: 6,000円
 ・定員: 35名
 *①②共、同窓会の年会費納入者に限定させていただきます。参加当日の納入も受け付けております。
 *天候上の事情、各感染症の状況により内容の変更及び中止の可能性あります。
 *①②共、お問い合わせ・お申し込みは同窓会事務室までお願いします。定員になり次第締め切ります。
 (077-524-4295)

◆会員交流会

「徳川家康ゆかりの地をめぐる旅」報告

突き抜けるよ
 うな青空の下、会
 員交流会に行っ
 てまいりました
 た。10月28日(土)、
 朝方は少し冷え
 込みましたがJ
 R大津駅に24名
 が集まりバスで
 定刻出発。今回は
 ドラマで話題と
 なっている「徳川
 家康ゆかりの地
 をめぐる旅」です。
 一行は名神、
 伊勢湾岸道を経
 て愛知県岡崎へ、
 最初の目的地は

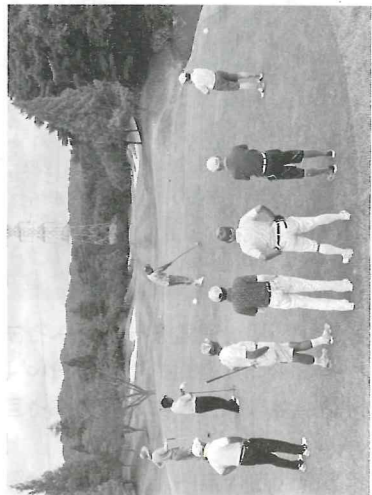


徳川家・菩提寺の大樹寺で
 した。拝観は30分の予定で
 したが、参加者の歴史好き
 が大きく影響したのかガイ
 ドさんの説明についつい熱
 が入りました。大幅に時間
 をオーバーしながらお寺の
 歴史や徳川家代々の位牌な
 どもを見学しました。続いて
 はお祭りにぎわう岡崎城
 すぐ近くの昼食会場へ。非
 常に活気ある街並みで食事
 をとり、その後は岡崎城の
 天守閣やドラマロケ地の特別
 展示を見学しました。
 旅の仕上げには愛知県のソウルフードとも言うべき八丁味噌の工場見学。こちらでも
 会員がガイドさんを質問攻めにする姿や、味噌のお土産選びで真剣に吟味と、膳所高校の卒業生ならではの光景に一行は大笑い。秋を締めくくる素晴らしい一日となりました。



◆同窓会ゴルフコンペ報告

まだ夏の気配が残る9月18日(月・祝)、第28回膳所高校同窓会ゴルフコンペが行われました。コロナ禍を乗り越えた4年ぶりの開催には、同窓生133名が参加となり、会場となったメイプルヒルズGCには様々な歓声があつてきました。
 ホールアウト後の表彰式までの待ち時間を短縮しようと、今回から前半9ホールでのハーフコンペにルールが変更されました。ホールアウト後はすぐに各年代で集まり会食をスタート、さらに入賞者には川戸会長が順次表彰しました。各会食テーブルではラウンド中の珍・好プレー総括のみならず近況報告で大いに盛り上がり、次回のラウンドや1年後のコンペ参加の約束と、参加者の笑顔でいっぱいになりました。
 ハーフコンペ採用により順位決定などで運営面の課題は残りますが、各年代がそれぞれのペースで1日を過ごすことができるようになりました。来年はより多世代からの参加を募り、同窓生の交流の場が今まで以上に活性化されればと思います。



令和5年度 同窓会会務・会計報告 / 令和6年度 同窓会総会提出議案

◆令和5年度 同窓会会務報告

令和5年 (2023)
 4月 20日 JUNGIDO第40号発行 (27,003部発送)
 役員選考委員会開催
 5月 21日 令和4年度同窓会会計監査 (同窓会事務室)
 第1回役員会 (セミナーハウス遊戯館 研修室)
 21日 令和5年度同窓会総会 (びわ湖大津プリンスホテル) 114名参加
 第2回役員会・歓送迎会 (くし屋敷)
 9月 17日 第28回ゴルフコンベン (メイプルヒルズゴルフ倶楽部) 133名参加
 10月 15日 第3回役員会 (選択教室)
 28日 第9回役員交流会「徳川家康ゆかりの地を巡る旅」 24名参加
 11月 6日 会費納入再度のお願い

令和6年 (2024)
 2月 9日 第4回役員会・新年会 (あたか飯店)
 29日 同窓会入会式
 3月 1日 第72回膳所高等学校卒業式 (令和5年度)
 23日 臨時役員会 (同窓会事務室)
 30日 令和5年度同窓会理事会(大会議室)
 JUNGIDO第41号校了 (作業終了)

令和5年度開催 周年・クラブOB会

＜周年同窓会＞
 令和5年 10月 11日 65周年記念同窓会 (昭和33年卒) 78名参加
 28日 55周年記念同窓会 (昭和43年卒) 73名参加
 11月 4日 10周年記念同窓会 (平成24年卒) 150名参加
 25日 35周年記念同窓会 (昭和63年卒) 102名参加
 12月 30日 15周年記念同窓会 (平成21年卒) 101名参加
 令和6年
 1月 2日 20周年記念同窓会 (平成15年卒) ホテルホストンプラザ草津 60名参加
 〃 15周年記念同窓会 (平成20年卒) ホテルグランヴィア京都 81名参加
 3日 30周年記念同窓会 (平成3年卒) 琵琶湖ホテル 118名参加
 〃 10周年記念同窓会 (平成26年卒) びわ湖大津プリンスホテル 186名参加
 6日 5周年記念同窓会 (平成31年卒) びわ湖大津プリンスホテル 267名参加
 8日 二十歳の記念同窓会 (令和4年卒) びわ湖大津プリンスホテル 342名参加
 2月 14日 55周年記念同窓会 (昭和41年卒) びわ湖大津プリンスホテル 123名参加
 ＜クラブOB会＞
 令和5年 7月 16日 吹奏楽班OB合同演奏会 60名参加
 29日 陸友会懇親会 (総会) 50名参加
 8月 19日 卓球同友会交流試合・懇親会 60名参加
 10月 8日 ラグビー班OBマスターズ花園出場・懇親会 55名参加

◆令和5年度 同窓会会計報告 (令和5年4月1日～令和5年2月29日)

一般会計

項目	予算額	決算額 (令和6年2月末)	予算比	備考
前年度繰越金	4,617,416	4,617,416	0	
令和5年度分前受会費	5,531,000	5,531,000	0	会費会計より振替
令和5年度会費	4,000,000	3,870,000	△ 130,000	会費会計より振替
同窓会入会金	1,080,000	1,077,000	△ 3,000	新報同窓会入会金 359名
雑収入	30,000	48,106	18,106	受取利息、オンライン代等
合計	15,258,416	15,143,522	△ 114,894	

《支出の部》

項目	予算額	決算額 (令和6年2月末)	予算比	備考
総会費	800,000	498,270	△ 301,730	総会
会議費	150,000	70,868	△ 79,132	理事会、役員会
交際費	30,000	8,889	△ 21,111	
通信費	900,000	884,997	△ 15,003	会費振込用紙宛名印刷、総会ほか等
旅費交通費	50,000	22,200	△ 27,800	役員会等
支払手数料	500,000	370,217	△ 129,783	各種振込手数料
雑給与	1,400,000	1,254,840	△ 145,160	事務局職員費、交通費
コンピュータ関係費	40,000		△ 40,000	ソフトメンテナンス料
ホームページ運用費	64,800	64,800	0	サーバー運用費
事務用品費	55,000	31,064	△ 23,936	
備品・消耗品費	150,000	112,310	△ 37,690	複合機リース料等
広報発行費	1,200,000	1,210,026	10,026	「JUNGIDO」40号発行
広報発送費	2,300,000	2,144,138	△ 155,862	広報封入封紙、広報送料
学校助成金	1,000,000	1,000,000	0	特別講座、クラブOB会等
班活動奨励金	1,100,000	1,100,000	0	文化班、体育班活動費
慶弔費	50,000	11,000	△ 39,000	
周年同窓会祝い金	600,000	500,000	△ 100,000	周年同窓会12件、クラブOB会4件
各部会費	700,000	683,291	△ 16,709	各部会活動費
〔広報部部会費〕		7,684		
〔事業部部会費〕		447,164		ゴルフコンパへ、会費交流
〔総務部部会費〕		228,443		会費納入再依頼
予備費	4,168,616	△ 4,168,616		
合計	15,258,416	9,966,910	△ 5,291,506	

差引残高 5,176,612 (15,143,522-9,966,910)

◆同窓会財産目録 (令和6年2月29日)

I. 一般会計及び会費会計 合計 (単位 円)

☆郵便局	☆滋賀銀行	普通預金	普通預金	合計
郵便振替	1口	7,056,205		
郵便貯蓄	1口	3,097,771		
本店営業部		684,181		
膳所支店		8,096,772		
☆手許現金		114,083		
				計 19,049,012

II. 特別会計

☆滋賀銀行 膳所支店
 普通預金 10,802,838
 計 10,802,838

III. 名簿会計

☆滋賀銀行 膳所支店
 普通預金 1,679,882
 計 1,679,882

◆会費の納入をお願いします

令和6年度の会費を同封の振込用紙にて、コンビニまたは郵便局でご納入くださいますようお願いいたします。振込用紙が入っていない方は、会費を前納されている方です。

会費は年額2,000円です
 5年分(10,000円)まとめてのご納入も可能です



*同窓会の運営は、皆様の会費で成り立っています。ご理解ご協力をお願いします。

◆令和6年度 予算(案)

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

一般会計

項目	R6年度予算案	R5年度予算	備考
前年度繰越金	4,980,000	4,617,416	会費会計より振替
前受会費	5,780,000	5,531,000	会費会計より振替
当年度会費	4,000,000	4,000,000	新報同窓会入会金 3,000円/人
同窓会入会金	1,080,000	1,080,000	受取利息、オンライン代等
雑収入	40,000	30,000	
合計	15,880,000	15,258,416	

《支出の部》

項目	R6年度予算案	R5年度予算	備考
総会費	700,000	800,000	年次総会(毎年5月第3日曜日)
会議費	150,000	150,000	理事会、役員会
交際費	30,000	30,000	
通信費	1,000,000	900,000	会費振込用紙宛名印刷、総会ほか等
旅費交通費	50,000	50,000	役員会等
支払手数料	500,000	500,000	各種振込手数料
雑給与	1,600,000	1,400,000	事務局職員費、交通費
コンピュータ関係費	40,000	40,000	ソフトメンテナンス料
ホームページ運用費	64,800	64,800	サーバー運用費
事務用品費	60,000	55,000	
備品・消耗品費	150,000	150,000	複合機リース料等
広報発行費	900,000	1,200,000	「JUNGIDO」41号発行
広報発送費	2,250,000	2,300,000	広報封入封紙、広報送料
学校助成金	1,000,000	1,000,000	特別講座、クラブOB会等
班活動奨励金	1,100,000	1,100,000	文化班、体育班活動費
慶弔費	50,000	50,000	
周年同窓会祝い金	700,000	600,000	30,40,50,60周年は50,000円、その他5年毎30,000円
各部会費	700,000	700,000	広報部会、事業部会、総務部会活動費
予備費	4,835,200	4,168,616	
合計	15,880,000	15,258,416	

◆令和6年度 事業計画(案)

同窓会員相互の交流・親睦と教養の向上を図るとともに、母校に対する支援・協力の諸事業を行います。

同窓会では、同窓会の安定的運営の根幹となる会費の納入率の向上に努め、高齢化の進む中で、より多くの情報発信のための広報紙の充実、周年同窓会への支援強化、母校への支援の継続強化を行い、同窓会活動を充実してまいります。

- 総務部会 定例総会・理事会の開催や役員会等が必要に応じ開催します。母校との連携・協議を積極的にすすめるとともに、各部会への協力、調整を行います。
- 事業部会 総会時の講演会の開催、各学年の周年同窓会への協力、ゴルフ大会・研修会等の交流会の開催を通じて、同窓会活動の活性化に努めます。また、学校の後援会活動、文化班・体育班活動の奨励に努めます。
- 広報部会 母校の情報発信や同窓生相互の交流を図るため、年度当初に同窓会広報紙「JUNGIDO」を発行します。会員と母校とを繋ぐ充実した紙面づくりおよび同窓会ホームページを通して、広報活動の充実に努めます。
- 財務部会 健全な同窓会会計の確立のため、同窓会費の納入促進に努めます。
- 事務局 会員との情報交換、周年同窓会への支援・援助、年会費の徴収、年会費未納者への納入依頼・地域、職域の組織づくり、体育・文化班OB会の支援、同窓会ホームページのコンテンツ管理等を行います。

班活動報告

2023年度 全国レベル大会結果

- ボト班**
 全国高等学校総合体育大会ボト競技大会
 女子シングルスカル 第2位 三吉詩葉
 男子腕付きクオドルブル 準々決勝進出 澤井哲広・澤本響希・菅谷和樹・杉谷太規・嶋田琉玄・片山陸・武村風誠
 女子腕付きクオドルブル 準々決勝進出 白井和湖・小林真桜・井深美桜・岡部光姫・竹村ゆきの・中野葵葉・山本花香
鹿児島国体ローリング競技
 女子ダブルスカル 第7位 三吉詩葉
 男子腕付きクオドルブル 準決勝4位 澤井哲広・杉谷太規
 女子腕付きクオドルブル 第4位 小林真桜・山本新奈
全国高等学校選抜ローリング大会
 男子ダブルスカル 出場 武村風誠・松尾新太・林楓太郎
 女子ダブルスカル 出場 小林真桜・片矢福葉・中野葵葉
 男子シングルスカル 出場 杉谷太規
- 山岳班**
 全国高等学校総合体育大会登山競技大会
 5位 男子A隊 岡沢心・井上遙・山口健登・北川知樹
- 陸上競技班**
 全国高等学校総合体育大会・全国高等学校陸上競技選手権大会
 男子800m 出場 山田翔悟
 男子5000mW(競歩) 出場 柴野大輔
- 空手道班**
 全国高等学校総合体育大会・全国高等学校空手道競技選手権大会
 男子形 出場 樋口凌介
- テニス女子班**
 全国高等学校総合体育大会 女子シングルス 出場 山下夕貴
- ヨット班**
 全国高等学校総合体育大会セーリング競技
 1LCA6女子 出場 中村楳
 420級男子 出場 大西風寛・高田晃希
鹿児島国体セーリング競技
 少年男子420級 22位 高田晃希・中嶋清悠
 少年男子1LCA6級 23位 坂口太一
 少年女子420級 22位 牛尾莉子・塚田乃愛
 少年女子1LCA6級 12位 中村楳
 成年男子1LCA7級 6位 安田真之助
- バドミントン班**
 全国高等学校選抜バドミントン大会
 女子シングルス 出場 高木夏彩
全国高等学校フレイクアスケット競技選手権大会
 フレイクアスケット 35位 シュルンツエ莉奈

- 音楽班合唱部**
 全国高等学校総合文化祭 合唱 出場 林瑞葵・島本琉聖 野嶋晏和・畑野蒼衣・森美美佳・山川千尋
音楽アンサンブルコンテスト全国大会 合唱 出場 野嶋晏和・畑野蒼衣・森美美佳・林瑞葵・山本真帆・西田灯・西岡瑞紀・小林もも江・井口勝乃・中村沙穂
- 物理地学班**
 全国高等学校総合文化祭
 自然科学部門 出場 仲宗根真生・竹内優作・西岡楓麻
- 弁論班**
 全国高等学校総合文化祭 弁論部門 出場 河田樹人
 全国中学高校レベル選手権 出場 河田樹人・小坂唯木・新家七海・榎本紗那 酒井真大・紀井奈葉
- かるた班**
 全国高等学校総合文化祭 小倉百人一首部門 出場 小嶋彩月・上野一花・宮村和・前田葵・越前美桜・竹原優羽
 小倉百人一首かるた全国高等学校選手権大会団体戦
 出場 東葉梨・菅本かぐら・中島翔音・上田善太郎・小嶋彩月・上野一花 宮村和 竹原優羽
- 美術班**
 全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門 出品 竹内奈緒
高校生のまち展巡回四季展
 秀作賞 北中拓未
 展覧賞 木下藍
- 放送班**
 NHK杯全国高校放送コンテスト
 アナウンス部門 準々決勝進出 阪田実乃理
 観望部門 準々決勝進出 榎田順子
 ラジオドキュメント部門 準々決勝進出 井上心優
 テレビドキュメント部門 準々決勝進出 高田あかり
 創作ラジオドラマ部門 準々決勝進出 保井勇吾
 創作テレビドラマ部門 準々決勝進出 上坂太暁
全国高等学校総合文化祭 放送部門
 ビデオメッセージ部門 ロック6位 上坂太暁
- 書道班**
 近江神宮全国献書大会
 高校の部 毎日新聞社賞(第6席) 小玉萌莉
「歴史文化に触れる高校生書道交流の旅」 訪中団に選抜参加
 岡柳月
- 高校生・高専生科学技術チャレンジ** 化学
 最終審査会出場 田崎奏葉
- 科学の甲子園** 団体出場

(主な国立大学)	(主な私立大学)	主要大学合格者数	(主な公立大学)	(その他)
北海道大	東北医薬院大	6名	東北医薬院大	1名
東北大	青山学院大	5名	青山学院大	1名
筑波大	北里大	2名	北里大	1名
東京海洋大	慶応大	2名	慶応大	1名
東京大	芝浦工大	3名	芝浦工大	1名
東京外大	順天堂大	1名	順天堂大	1名
東京学芸大	上智大	1名	上智大	1名
一橋大	昭和医大	3名	昭和医大	1名
横浜国立大	専修大	4名	専修大	1名
新潟大	中央大	1名	中央大	1名
富山大	帝京大	1名	帝京大	1名
金沢大	東京農大	2名	東京農大	1名
福井大	東京理大	1名	東京理大	1名
信州大	東洋大	1名	東洋大	1名
岐阜大	法政大	3名	法政大	1名
静岡大	武蔵大	5名	武蔵大	1名
名古屋大	明治大	7名	明治大	1名
名古屋大	明治学院大	8名	明治学院大	1名
三重大	早稲田大	15名	早稲田大	1名
滋賀大	麻布大	1名	麻布大	1名
滋賀医大	神奈川大	8名	神奈川大	1名
京都大	松本大	45名	松本大	1名
京都教育大	愛知医大	15名	愛知医大	1名
京都芸文大	豊田大	52名	豊田大	1名
京都産業大	名城大	29名	名城大	1名
京都女子大	京都産子大	2名	京都産子大	1名
鳥取大	同志社大	1名	同志社大	1名
岡山大	同志女子大	4名	同志女子大	1名
広島大	佛教大	2名	佛教大	1名
山口大	立命館大	1名	立命館大	1名
徳島大	龍谷大	2名	龍谷大	1名
九州大	京都華頂大	1名	京都華頂大	1名
大分大	追手門学院大	1名	追手門学院大	1名
	大阪医薬大	1名	大阪医薬大	1名
	大阪経大	1名	大阪経大	1名
	大阪歯大	1名	大阪歯大	1名
	関西大	1名	関西大	1名
	関西医大	1名	関西医大	1名
	関西外大	2名	関西外大	1名
	近畿大	4名	近畿大	1名
	摂南大	8名	摂南大	1名
	千里大	3名	千里大	1名
	森ノ宮学院大	15名	森ノ宮学院大	1名
	関西学院大	3名	関西学院大	1名
	神戸薬大	1名	神戸薬大	1名
	奈良女子大	3名	奈良女子大	1名
	岡山女子大	1名	岡山女子大	1名
	福岡大	1名	福岡大	1名

※令和6年3月28日現在 ※通年度卒業生を含む

高 所 報 告

NEWS

第72回卒業式

令和6年3月1日(金)、本校体育館において、「第72回卒業証書授与式」が行われました。普通科319名、理数科40名、計359名が新たに騰所高校から第72期生として巣立つていきました。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、昨年度まではさまざまな制約を設けての卒業証書授与式でしたが、今年度は式場の座席間隔も元の状態に戻し、吹奏楽班の演奏をはじめ、在校生の一部や来賓の参列を復活させるなど、可能な限り多くの人で卒業生の門出を祝うものに戻しました。富江宏校長は式辞の中で、コロナ禍での高校入学以降、さまざまな困難に直面してきたことに触れ、その中でも仲間と力を合わせ、粘り強く課題解決に取り組んできた卒業生の真摯な姿を賞賛されました。また、先行き不透明なこれからの時代を生き抜くために、①変化に対応した方を高めること、②人間にしかできないことにたわること、③普遍的な価値を大切にすることの3点を強調され、自分自身の強みや良さを生かし、心豊かな人生を送ってほしいと激励されました。

「卒業生の言葉」では代表の菅谷和樹さんが、これまでお世話になった家族や仲間、教職員への感謝の気持ちを述べた後、シンガー・ソングライター・ドリー・パートン氏の「See you when I direct the wind, but we can adjust the sails. (風向きは変えられないけれど、自分が進みたい方向に帆を調整することはできる。)」の言葉を披露。

今後の人生では、幾多の困難が待ち受けていることが考えられるが、決してあきらめず、粘り強く歩んでいきたいと述べ、最後に「風は私たちを強くする。私たちは、騰所という港から出港します。」と高らかに決意を表しました。

入学当初からコロ



切り絵で描く騰所三十六景 「騰所高校(遊義堂跡)と禾津の頓宮跡」 (谷川博己 贈15・昭42年)

令和5年度(2023)「石鹿文庫」寄贈図書

編者名 (備考)	書名・巻次(仮) ※敬称略
佐野 静代 (昭34卒)	・外菜種物か愛えた江戸時代
石川 正明 (昭35卒)	・化学の理論 原点からの化学
北村 夫 (昭35卒)	・鉄道の科学
吉川 榮和 (昭36卒)	・岐路に立つ原子力を考える
七里 広志 (平38卒)	・思考ツール×パフォーマンス 課題でつくる中学社会科授業
渡辺 健三 (昭38卒)	・徳区ササエリの重つくり16年のあゆみ
佐野 静代 (昭39卒)	・中近世の生業と皇朝の環境史
栗山 碩平 (平39卒)	・一つのメルヘン 中世中世の騎士とファンタジー
中村 成臣 (昭39卒)	・ラノエ大いなる日々 楽しくわくわくほろり
船橋 新太郎 (昭41卒)	・Dorsolateral Prefrontal Cortex

石鹿文庫は「同窓生執筆の著書」を集めた文庫です。ご寄贈をお願いします。

編集後記

ようやく通常の活動に戻れた一年でした。周年同窓会をはじめ諸々の集まり、会員交流会、ゴルフコンペ等々。OB会の活動もいくつかに報告を頂いています。学校の活動も海外修学旅行、SS日海外研修も実施できたようです。そういった活動を含め記事に関連した写真を出来る限り同窓会HPへアップし、母校への想いを馳せていただけるように工夫しました。

同窓会HPに会報バックナンバー(ページ右側のバナー)→UNGI DO 令和6年 41号 からご覧下さい。(広報部会担当、田井真樹、騰所高72回、昭和54年卒)